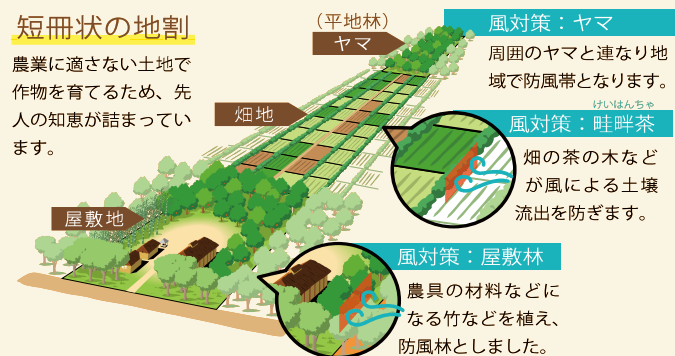


2026 年 三芳町落ち葉掃き MAP



世界農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」とは？

世界農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」は、1600 年代の江戸時代の本地域の開拓時、栄養分が少なく、水に乏しいなど農業を行うには非常に厳しい自然条件において、「屋敷地・畑地・平地林（ヤマ）」を短冊状に計画的に配置し、その平地林の落ち葉を堆肥化し、畑地にすき込み土壌改良を行うことによって、生産性が高い畑地を生み出し、今に続く安定的な多種多様な農産物の栽培を可能にしました。平地林（ヤマ）には、堆肥の原料となる落ち葉を生み出すクヌギ・コナラ等の落葉広葉樹が植えられ、人為的に管理され、平地林（ヤマ）は希少動植物に良好な生育環境を提供しています。また、開拓時の「屋敷地・畑地・平地林（ヤマ）」の面的な連なりが特徴的な農村景観を生み出しています。



この農法は360年以上前から毎年、冬に平地林（ヤマ）の落ち葉を集めて、たい肥を作って畑に入れてきました。



世界農業遺産とは？

社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった、世界的に重要な伝統的な農林水産業を営む地域であり、国際連合食糧農業機関（FAO）により認定されます。R7 年 11 月現在、29 か国 104 地域、（そのうち日本は 17 地域）が世界農業遺産に認定されています。

世界遺産との違いは？

世界遺産は、国際連合教育科学文化機関（UNESCO）が顕著な普遍的価値を持つ建造物や遺産、景観、自然などを文化遺産・自然遺産・複合遺産に分類し、「過去の遺産」の保護を目的に認定。これに対して、国際連合食糧農業機関（FAO）が認定する「世界農業遺産」は、農林水産業システムという「生きている遺産」の保全と維持的利用を目的にしています。

2026 年実施「武蔵野の落ち葉堆肥農法」体験落ち葉掃き一覧

裏面 MAP 上で三芳町で落ち葉掃きを行っている平地林（ヤマ）を紹介していますが、その中でも、実際に落ち葉掃き体験できる場所があります！詳しくはそれぞれのお問合せ先まで。

「三芳町」主催 体験落ち葉掃き

日時：1/17（土）9～12 時 ※予備日 1/24（土）

場所：多福寺木ノ宮地蔵堂（上富 1501 番地 I）

料金・特典：無料／焼き芋（数量限定）

申込・問合せ：1/13（火）迄に電子申請・電話・窓口 / 観光産業課 049-258-0019



申込フォーム



「三富落ち葉掃き野菜研究グループ」主催 現役農家がレクチャーする落ち葉掃き

日時：1/11（日）、18（日）、25（日）、2/1（日）※予備日 2/8（日）9～13 時

場所：旧島田家住宅集合（周辺の平地林）（上富 1279 番地 3）

料金・特典：500 円／みよし野菜を使用したけんちん汁

申込・問合せ：各回 3 日前迄に申込 / 代表 早川光男 090-3574-0324

申込フォーム



「江戸屋弘東園」主催

日時：1/24（土）8～13 時頃

場所：江戸屋弘東園（上富 1388 番地 3）

料金・特典：無料（定員を超えたらお断りすることもあります）・昼食有

申込・問合せ：伊東藏衛 090-3575-9339



「鈴木園」主催

日時：3/7（土）9～13 時頃 ※予備日 3/8（日）

場所：鈴木園（上富 1935 番地）

料金・特典：無料（定員を超えたらお断りすることもあります）・野菜の収穫体験あり

申込・問合せ：鈴木園 049-258-3672

「はやし園」主催

日時：2/1（日）・7（土）・8（日）9～13 時（可能な方は 15 時迄）

場所：神明社（所沢市中富 1507 番地 多門院隣）

料金・特典：無料、昼食、神社授与品

申込・問合せ：林千郷 090-5814-6385

「いも早川」主催

日時：2/14（土）9～13 時

場所：いも早川（上富 80 番地）

料金・特典：無料（募集：5 名程度）／昼食有

申込・問合せ：早川忠男 049-258-4548



落ち葉掃きをはじめとした平地林（ヤマ）の管理が生み出す希少植物「キンラン（純絶滅危惧）」

【基本的な持ち物】飲み物、軍手、タオル、マスク（土埃が舞う為必要な方）※服装は長袖長ズボンと長靴（運動靴でも可）

三芳町の先人が代々守り伝えてきた世界農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を体験できる貴重な機会です。沢山のご参加お待ちしております！

お問い合わせ 三芳町観光産業課
049-258-0019 kanko@town.saitama-miyoshi.lg.jp



「屋敷地・畑地・平地林（ヤマ）」の面的な連なりが特徴的な農村景観を生み出している

2026年三芳町落ち葉掃きMAP



三芳町で落ち葉掃きを実施している平地林(ヤマ)を紹介するよ。

※掲載の都台上、落ち葉掃きを実施している全ての平地林ではありません。

落ち葉サポーター募集

「武蔵野の落ち葉堆肥農法」は平地林(ヤマ)を人為的に管理し、そこで落ち葉を集め堆肥化したものを毎年畑に投入し、土づくりをしています。しかしながら広大な平地林での落ち葉掃きは大きな労力が必要となる一方、落ち葉堆肥農法を行っている農家では担い手も少なくなっています。この農法をより持続可能なシステムとし、この地に受け継がれてきた伝統農法「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を、未来のこどもたちに残していくため、落ち葉サポーターの募集をしています。



落ち葉サポーターを募集しているよ。
下のQRコードから申し込んでね。



※「体験」表示の平地林(ヤマ)は表面に募集情報を掲載しています。



【クマデ等を使って掃き集める】
平地林(ヤマ)において堆肥の原料となる落ち葉を集める



【カゴ詰め】
カゴに落ち葉を大量に詰められるよう踏み込みを行う
※詰め込んだ落ち葉は乾燥状態で約70kg



【クチ詰め】
カゴの口いっぱいには落ち葉を立てるように押し込んでいく



【切り返し(攪拌)】
堆肥場に積まれ降雨による水分供給と時折攪拌を行うことで発酵を促す



【堆肥場】
1~3年かけて堆肥化



【落ち葉堆肥を施肥】
畑に落ち葉堆肥をすき込む



【みよし野菜】
落ち葉堆肥を投入した畑から多種多様な農作物が栽培される